

館長兼芸術総監督おすすめコメント

“ピアノ・ストーリーズ”は音楽と語りのコラボレーションで作曲家とその音楽を掘り下げる、味わい楽しむ、というコンセプトで始めました。極めてシンプルに言えば「音楽物語」です。昨年度は「ラームスとクララ・シューマン」の物語がお蔭様で好評頂きました。今回はピアニストの菊池さんとも話して「ベートーヴェンについて」と決めたものの、全く台本は進まず、「音楽以外は不要なのでは?」と一時は思いました。様々な資料(手紙、日記、周辺人物の証言等)に目を通し、何度も作品を聴いている内にようやく「これだ」と思うテーマを天から授かりました(笑)。もしかしたら、ベートーヴェンが「しょうがねえなあ…」と、そつと与えてくれたのかもしれません。テキストはともかく、菊池さんのピアノ、堀江さんの声と語り、勿論ベートーヴェンの作品が素晴らしいことに間違いはありません。それでもテキストによっていつもと違う聴こえ方がすることはお約束出来ますので是非会場でお聴きください!

東海市芸術劇場館長兼芸術総監督 安江正也

STORY

「もはや生きていられない」

ワインを離れ、穏やかな自然に囲まれたハイゲンシュタットでベートーヴェンは「ハイゲンシュタットの遺書」と呼ばれる文書を書いた。

ベートーヴェン32歳の時のことである。この数年前から難聴が進行し、恐怖し、絶望したのである。

しかし、この後もベートーヴェンは生き続け、寧ろこの後に不朽の名作の数々を生んでいる。

特に“遺書”から2年後に書かれた「英雄交響曲」はベートーヴェンにとって自信作と言える作品だったが、

この作品に込められたものこそ絶望による死から生への帰還の鍵だったのではないだろうか。

ベートーヴェンの残した文書、関係者の証言を基にしたベートーヴェン本人の独白とピアノ演奏があなたに直接語りかける。



菊池洋子 [ピアニスト]
YOKO KIKUCHI

2002年第8回モーツアルト国際コンクールにおいて日本人として初めて優勝、一躍注目を集め。その後、ザルツブルク音楽祭に出演するなど国内外で活発に活動を展開し、いまや実力・人気ともに日本を代表するピアニストの一人である。桐朋学園女子高等学校音楽科卒業後、イタリアのイモラ音楽院に留学、フランコ・スカラ、フォルテピアノをステファノ・フィウッソに師事。国内主要オーケストラとの共演をはじめ、ザルツブルク室内管、フランス・リスト室内管、南西ドイツフィルハーモニー、ベルリン響等と共に演。バレエとのコラボレーション公演にも出演し、CD録音も活発に行う。前橋市Presents 舞台芸術祭芸術監督。2007年第17回出光音楽賞受賞。

菊池洋子オフィシャルホームページ:<http://www.yokokuchipf.com/>



堀江一眞 [声優]
KAZUMA HORIE

青二プロダクション附属俳優養成所「青二塾」を卒塾後、同プロダクションを経てプロデビュー。主な出演作品はTVアニメ「夏目友人帳」:田沼要役、「デュラララ!!」:矢霧誠二役、「サークル」:スノウリリ役、海外ドラマ「クイン・メアリー」シリーズ:フランソワ役、海外ドラマ「僕らのイケメン青果店」:ハン・テヤン役など。また「ディズニープラス」シリーズ、小学館「幼稚園」、「アクエリアス」、「ストナ」など多数の企業CMナレーションを担当。ゲーム作品では「オルタンシア・サーガ」:蒼の騎士団」:バルデブロン役・ノエル役、「イケメンヴァンパイア」:サン・ジェルマン伯爵役などに出演。(株)アクセント所属。

中山千尋トリオ ～ジャズピアノ～

劇場インフォメーション

中山千尋トリオ ～ジャズピアノ～

2021年11月7日(日) 15:00開演
東海市芸術劇場 大ホール

一般 ¥3,000 小中高生 ¥1,000

※未就学児入場不可

〔ユワカルフレンドメンバーズ〕一般 ¥2,700 小中高生 ¥900

〔プラチナ会員価格〕

出演:中山千尋(ピアノ)、山本裕之(ベース)、橋本現輝(ドラム)



先行発売:2021年7月24日(土) / 一般発売:2021年7月31日(土)

藤村実穂子リサイタル

2022年2月20日(日) 15:00開演
東海市芸術劇場 大ホール

一般 ¥3,000 小中高生 ¥1,000

※未就学児入場不可

〔ユワカルフレンドメンバーズ〕一般 ¥2,700 小中高生 ¥900

プログラム:マーラー／さすらう若人の歌、細川俊夫／日本の民謡による歌曲(仮題)ほか

出演:藤村実穂子(メゾソプラノ)、ウォルフラム・リーガー(ピアノ)

先行発売:2021年11月27日(土) / 一般発売:2021年12月4日(土)

